

## 年間指導評価計画(平成18年度)評価規準の前に到達目標を置いたもの(表面は第1学年、裏面は第3学年)

## 英語科 年間指導評価計画(第1学年)

<p>&lt;到達目標と主な方法&gt;</p> <p>① 教科書で扱う文法事項を理解し、使用することができる。[ドリル演習、活動を頻りに設定]</p> <p>② 400語程度の単語を使用することができる。(正しく綴れる単語は250語程度)[自己表現に必要な語彙の補充、スペリング・コンテスト(5回)]</p> <p>③ 教科書で扱う慣用表現を積極的に使用することができる。[授業内での働きかけ、使用する機会を設定]</p> <p>④ 質問、指示、依頼、提案などの英文を聞いて、適切に応じることができる。[英語による授業]</p> <p>⑤ 英語を聞いて、具体的な内容や大切な部分を聞き取ることができる。[教科書本文の導入、リスニング教材]</p> <p>⑥ 相手に自分についての情報を与えたり、相手に質問することにより情報を得たりできる。[インタビュー活動、チャット、スピーチのあとのQ&amp;A]</p> <p>⑦ 身近な話題について、会話を1分間程度続けることができる。[One Minute Chat]</p> <p>⑧ 質問に対し、2文以上で応答することができる。[Q&amp;A、インタビュー活動、One Minute Chat]</p> <p>⑨ 動物やものについて、相手が理解できるように説明することができる。[Explanation Game 1]</p> <p>⑩ 正しい発音、イントネーション、強勢で音読することができる。[音読指導]</p> <p>⑪ 簡単な英文(教科書最後のレッスンのレベル)を読んで、内容を理解することができる。[reading教材による読解指導]</p> <p>⑫ 簡単な英文を、文字や符号を含めてほぼ正しく書くことができる。また、40語程度のまとまった英文を、多少の間違いがあっても書くことができる。[教科書本文のcopying、スピーチ原稿]</p> <p>⑬ 自分が得た情報について、レポート文を正しく書くことができる。[インタビュー活動、One Minute Chatの記録]</p> <p>⑭ フォニックスの知識を利用し、音と文字の関係を把握することができる。[フォニックス指導]</p> <p>⑮ 初學者用の辞書の引き方の知識がある。[辞書指導]</p>
<p>&lt;月ごとの予定授業数&gt;</p> <p>4月:8 5月:6 6月:11 7月:5 8月:1 9月:10 10月:10 11月:5 12月:8 1月:7 2月:7 3月:5</p>
<p>&lt;教材&gt; アクティブ・フォニックス、英語のパートナー、単元テスト</p>

- ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度  
 ②表現の能力  
 ③理解の能力  
 ④言語や文化についての知識・理解

(指導対象)とあるのは、できるようになるまで指導を行うもの。

指導内容(学習内容)と時数		観点	評価規準(到達目標)	評価方法	Bの評価基準						
月	教科書 主な活動										
4	Let's enjoy English ・単語 ・数 ・アルファベット(1、2、4、5はしばらく経ってから実施する) <2時間程度(教科書以外の活動を行ってから簡単に扱う)>	・フォニックス(アクティブ・フォニックス) ・単語補充(16枚×4セット) <8時間程度>	① L:教師の目を見ながら、教師の話す英語を理解しようとしている。 S:英語によるあいさつを相手の目を見ながら適切な声量で行おうとしている。	授業中の観察	教師の目を見ながら、話を聞いている。(指導対象:その都度、注意を行う)						
			④ L:アルファベットを聞いて、文字を認識できる。 L:単語を聞いて、その意味がわかる。 L:数(1~20)を聞いて、その意味が理解できる。	リスニングテスト リスニングテスト リスニングテスト	アルファベットを聞いて、どの文字か80%以上認識できる。 単語を聞いて、その意味が70%以上わかる。 1~20の数を聞いて、80%以上わかる。						
			S:アルファベットを正しい発音で順番通りに言うことができる。 S:単語を正しく発音することができる。(フォニックスで扱った語)	インタビューテスト インタビューテスト	すべてのアルファベットをほぼ正しい発音で正しい順番で言うことができる。(指導対象) 80%以上の語を正しく発音することができる。						
			W:アルファベットの大きい文字と小さい文字を正しく書くことができる。	小テスト	アルファベットの大きい文字と小さい文字をすべて正しく書くことができる。(指導対象)						
			① L:教師、友だち、CDなどの英語の内容を理解しようとしている。(前期継続、以下省略) S:日常のあいさつや初対面のあいさつを英語で行おうとしている。(前期継続、以下省略)	授業中の観察 授業中の観察	話し手の目を見て、積極的に聞き取ろうとする態度が見られる。(指導対象) 生徒同士で、または先生に日常のあいさつを英語で行おうとする態度が見られる。						
			② S:教科書の本文を真似た自己紹介ができる。 W:教科書の英文を正しく写すことができる。(前期継続、以下省略)	スピーチ ノート点検	5文程度で、相手に分かるように自己紹介ができる。 教科書の英文を文字や符号に気をつけてほぼ正しく写すことができる。(指導対象)						
			③ L:自己紹介を聞いて、大切な情報を理解することができる。 ④ W:英文を書く際の基本的なきまりや符号についての知識がある。	リスニングテスト ペーパーテスト	話し手の情報をほぼ正しく理解することができる。(70%以上) 各符号についての知識がほぼ十分にある。						
5	Unit 1 自己紹介 ・I'm~ ・I'm from~ ・Call me~ <4時間>	自己紹介のスピーチ	① S:スキット活動に積極的に取り組んでいる。 S:Communication Taskに積極的に取り組んでいる。	活動の観察(Unit 2およびUnit 3)	グループで協力して、スキット活動に取り組もうとする態度が見られる。 活動に積極的に取り組もうとする態度が見られる。						
			② R:教科書の対話文を正しく音読することができる。(全員一斉)	音読テスト	発音、強勢、イントネーションがほぼ正しい。(項目別評価)						
			③ R:英文を読んで内容が理解できる。	ペーパーテスト	英文を読んで、内容をほぼ正しく理解できる。(60%以上の正答)						
			④ W:単語を正しく書くことができる。 W:be動詞の平叙文と疑問文の語順の違いについての知識がある。	スペリング・コンテスト ペーパーテスト	指定した語のうち、80%以上を正しく書くことができる。(指導対象) 語順の違いなどの知識について、60%以上正答できる。						
			6	Unit 2 ・Are you~? ・This is~. <6時間>	スキット 辞書指導	① S:スキット活動に積極的に取り組んでいる。 R:教科書の対話文を正しく音読することができる。(前期継続、1回の授業で4名指名、教材は生徒に)	活動の観察(Unit 2およびUnit 3) 音読テスト	グループで協力して、スキット活動に取り組もうとする態度が見られる。 発音、強勢、イントネーションがほぼ正しい。(全体的評価)			
						W:人を紹介する英文を書くことができる。	ペーパーテスト	ほぼ正確に英文を書くことができる。(2文中1文以上)			
						③ L:初対面の人同士の対話文を聞いて内容を理解することができる。 R:初対面の人同士の対話文を読んで内容を理解することができる。	リスニングテスト ペーパーテスト	ほぼ正確に内容を理解することができる。(60%以上の正答) ほぼ正確に内容を理解することができる。(60%以上の正答)			
						④ R:人称代名詞(he, she, his, her)についての知識がある。 R:疑問詞疑問文(who, what)についての知識がある。 W:単語を正しく書くことができる。	ペーパーテスト ペーパーテスト スペリング・コンテスト	人称代名詞についてほぼ十分な知識がある。(60%以上の正答) 疑問詞疑問文についてほぼ十分な知識がある。(60%以上の正答) 指定した語のうち、80%以上を正しく書くことができる。(指導対象)			
						7	Unit 3 ・He(She) is~ ・Who is~? ・an <6時間>	スキット Q&A(継続)	① W:自己紹介の英文を積極的に書こうとしている。	ノート点検	自己紹介の英文を積極的に書こうとする態度が見られる。
									② S:尋ねられたことに対して、2文以上で適切に応答できる。 R:教科書の対話文を正しく音読することができる。(前期継続、1回の授業で4名指名) W:自己紹介の英文を正しく書くことができる。	インタビューテスト 音読テスト ペーパーテスト	質問に対して、2文以上の文で適切に応答できる。(3問中2問以上) 発音、強勢、イントネーションがほぼ正しい。(10段階の全体的評価で5以上) 自己紹介の英文をほぼ正しく書くことができる。
③ L:一般動詞を含む対話文を聞いて、内容を理解できる。 R:一般動詞を含む対話文を読んで、内容を理解できる。	リスニングテスト ペーパーテスト	ほぼ正確に内容を理解することができる。(60%以上の正答) ほぼ正確に内容を理解することができる。(60%以上の正答)									
④ W:一般動詞の肯定文、疑問文、否定文の知識がある。 W:単語を正しく書くことができる。	ペーパーテスト スペリング・コンテスト	一般動詞の肯定文、疑問文、否定文についての知識がほぼ十分にある。 指定した語のうち、80%以上を正しく書くことができる。(指導対象)									

英語科 年間指導評価計画(第3学年)

<p>&lt;到達目標と主な方法&gt;</p> <p>① 教科書で扱う文法事項を理解し、使用することができる。[ドリル演習、活動を頻繁に設定]</p> <p>② 1,200語程度の単語を使用することができる。(正しく綴れる単語は800語程度)[自己表現や入試に必要な語彙の補充、スベリング・コンテスト(5回)、単語テスト]</p> <p>③ 教科書で扱う慣用表現を積極的に使用することができる。[授業内での働きかけ、使用する機会を設定]</p> <p>④ 質問、指示、依頼、提案などの英文を聞いて、適切に応じることができる。[英語による授業]</p> <p>⑤ 相手の言っている大切な点をメモすることができる。[Chat &amp; Report、インタビュー活動、ディベート]</p> <p>⑥ 英語を聞いて、概略を理解できる。また具体的な内容や大切な部分を聞き取ることができる。[リスニング教材、英語を使った授業]</p> <p>⑦ 相手に十分な量の情報を与えたり、相手に質問することにより情報を得たりすることができる。また、積極的に行動する。[チャット、スピーチ、ディベート]</p> <p>⑧ 身近な話題について、会話を3分間程度続けることができる。[チャット]</p> <p>⑨ ものについて説明したり、絵、写真、映像を描写したりできる。[Explanation Game 2]</p> <p>⑩ 第三者に自分の知っている情報を正確に伝えることができる。[Chat &amp; Report、レポーター活動]</p> <p>⑪ 聞いたり読んだりしたことについて、意見や感想を述べるができる。[スピーチ、ディベート、コンポノート]</p> <p>⑫ 音変化や抑揚などに気をつけながら、感情を込めて適切なスピードで音読することができる。[音読指導]</p> <p>⑬ まとまった英文を適切なスピード(1分間に60語以上)で読んで、内容を理解することができる。</p> <p>⑭ 簡単な英文を相手に理解できるように、ほぼ正しく書くことができる。また、100語程度のまとまった2から3段落程度の英文を、読み手が理解できるように書くことができる。[コンポノート、スピーチ]</p> <p>⑮ 学習英和辞典の内容を理解し、書かれてある情報を活用することができる。[辞書指導]</p>
<p>&lt;月ごとの予定授業数&gt;</p> <p>4月:8 5月:5 6月:11 7月:5 8月:1 9月:10 10月:10 11月:5 12月:8 1月:7 2月:6 3月:0</p>
<p>&lt;教材&gt; ドリルブック、文法項目別問題集、単元テスト</p>

- ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- ②表現の能力
- ③理解の能力
- ④言語や文化についての知識・理解

(指導対象)とあるのは、できるようになるまで指導を行うもの。

月	指導内容(学習内容)と時数	観点	評価規準(到達目標)	評価方法	日の評価基準		
4	Unit 1 ・tell[ask]人to～ パートごとに指導 <7時間>	One Minute Chat(How was your spring vacation?)  コンポノート(英文日記)  Chat & Report	① L: 教師、友だち、CDなどの英語の内容を理解しようとしている。(前期継続、以下省略) S: 2人で協力して会話を続けようとしている。	授業中の観察  活動の観察(3回分)	話し手の目を見て、積極的に聞き取ろうとする態度が見られる。(指導対象)  2人で協力して会話を続けようとする態度が見られる。		
			S: Communication Taskなどの活動に積極的に取り組んでいる。 W: なるべく多くの情報を英文日記に書こうとしている。(前期継続、以下省略)	活動の観察(前期で5回分の観察機会を設ける)  ノート点検	活動に積極的に取り組む態度が見られる。  英文日記(「コンポノート」)に英文を書こうとする態度が見られる。		
			② W: 「～に…するように言う(頼む)」の文を正しく書くことができる。 R: 教科書の対話文を正しく音読することができる。(前期継続、1回の授業で4名指名、教材は生徒により異なる)	ペーパーテスト  授業中の音読テスト	「～に…するように言う(頼む)」の文をおおむね正しく書くことができる。(3文中2文以上)  発音、強勢、イントネーションがほぼ正しく、感情を込めて音読できる。(10段階の全体的評価で6以上)		
			③ L: 英語を聞いて、誰が何を言われたのか理解することができる。 R: 英語を読んで、誰が何を言われたのか理解することができる。	リスニングテスト  ペーパーテスト	ほぼ正確に内容を理解することができる。(50%以上の正答)  ほぼ正確に内容を理解することができる。(50%以上の正答)		
			④ W: tell[ask]+人+to～の文構造を理解している。 W: 単語を正しく書くことができる。	ペーパーテスト  単語テスト スベリング・コンテスト	tell[ask]+人+to～の文構造をおおむね理解している。(50%以上の正答)  指定した語のうち、80%以上を正しく書くことができる。(指導対象)		
			① S: Communication Taskなどの活動に積極的に取り組んでいる。	活動の観察(前期で5回分の観察機会を設ける)	活動に積極的に取り組む態度が見られる。		
	Unit 2 ・現在完了(継続・経験) 文法事項 ↓ 本文通し <8時間>	Chat & Report	② S: 自分の知っている情報を口頭で伝えることができる。 W: 現在完了形を使った英文を正しく書くことができる。 R: 教科書の対話文を正しく音読することができる。(共通課題)	活動(Chat & Report)の評価  ペーパーテスト  授業中の音読テスト	チャットでパートナーから知り得た情報を2つ以上正しく伝えることができる。  現在完了の文をおおむね正しく書くことができる。(5文中3文以上)  発音、強勢、イントネーションがほぼ正しく、感情を込めて音読できる。(10段階の全体的評価で6以上)		
			③ L: 現在完了を含む英文を聞いて、内容を理解できる。 R: 現在完了を含む英文を読んで、内容が理解できる。	リスニングテスト  ペーパーテスト	ほぼ正確に内容を理解することができる。(50%以上の正答)  ほぼ正確に内容を理解することができる。(50%以上の正答)		
			④ R: 現在完了の文の知識がある。 W: 単語を正しく書くことができる。	ペーパーテスト  単語テスト スベリング・コンテスト	現在完了の文の構造や意味についておおむね知識を持っている。  指定した語のうち、80%以上を正しく書くことができる。(指導対象)		
			Unit 3 ・S+V+whatなど+to～ ・It's～to… 文法事項 ↓ 本文通し <7時間>	スピーチ「10年後の私」	② W: It's～to…の構文を使って、自分の意見を正しく書くことができる。 R: 教科書の対話文を正しく音読することができる。(前期継続、1回の授業で4名指名、教材は生徒により異なる)	ペーパーテスト  授業中の音読テスト	読み手に伝わるように、おおむね正しく英文を書くことができる。(5文中3文以上)  発音、強勢、イントネーションがほぼ正しく、感情を込めて音読できる。(10段階の全体的評価で6以上)
					③ L: It's～to…の構文を使った英文を聞いて、どのような意見なのか正しく理解することができる。 R: S+V+whatなど+to～を含む英文を読んで、内容が理解できる。	リスニングテスト  ペーパーテスト	ほぼ正確に内容を理解することができる。(50%以上の正答)  ほぼ正確に内容を理解することができる。(50%以上の正答)
					④ W: It's～to…やwhat to～についての知識がある。 W: 単語を正しく書くことができる。	ペーパーテスト  単語テスト スベリング・コンテスト	語順についての知識をおおむね持っている。(50%以上の正答)  指定した語のうち、80%以上を正しく書くことができる。(指導対象)
7	Let's Read <4時間>	① R: 主人公の心情を理解しようとしながら、ストーリーを読もうとしている。	ワークシートの評価	主人公の心情を理解しようとしながら、ストーリーを読もうとする態度が見られる。			
		② S: 感情を込めて暗唱することができる。 S: スピーチで、聞き手にわかりやすく説明を行うことができる。	インタビューテスト  活動(スピーチ)の評価	感情を込めて暗唱することがおおむねできる。  聞き手にわかりやすく説明することがおおむねできる。			
		④ W: 単語を正しく書くことができる。	単語テスト スベリング・コンテスト	指定した語のうち、80%以上を正しく書くことができる。(指導対象)			